

三田市長 あて

提案代表者

うめざわとよかず  
梅澤 豊和

## まちづくり提案再検討申出書

三田市市政への市民参加条例第 21 条第 5 項の規定により、次のとおり再検討の申し出をします。

申し出に係る政策 の名称又は内容	「SANDA FIRE プロジェクト」 ～旧消防署の再利用による、クリエイティブの拠点づくり～
申出理由	<p>&lt;検討結果理由についての反証&gt;</p> <p>1) 昭和 42 年の建築であるが故に、デザインの価値が存在し、保存運用に値する。</p> <p>2) 再利用についてコストに係る事は十分に承知している。 耐震及びリノベーションの規模とコストはどの程度の数字を算出しているのか明示をしていただきたい。 コストを下げる工夫は市民として惜しまず、広く賛同者を募り、詳細な内容について検討を加えコストカットを目指す。 リノベーションについても市民の力を活用し、コストカットに努めたい。 そもそも、これらの動きそのものが、見えないと言われる「三田 FIRE」の目指すプロジェクトの一環である。</p> <p>3) 駐車スペースはもとより希望していない。 JR 西日本、神戸電鉄の各三田駅、神姫バス三田ターミナルともに、至近距離であり、徒歩圏内である。 ※身体障害者用のスペースは、別途協議致したい。</p> <p>4) 「旧九鬼家住宅の資料館及び周辺を訪れる観光客向けに活用する」とあるが、既に旧九鬼家住宅前には大型の駐車場があり運用されている。 また、大型バスの待機所が必要であれば、現在は如何運用されているのか、逆にお尋ねしたい。 三田の旧市街の街並みは、駅から歩く歴史的なツーリズムがあつてこそ、観光資源として活かされるのであり、それらを市民が考える場所が「三田 FIRE」である。</p> <p>5) 既存施設が市民活動の拠点であるとの意見であるが、現状をどのように把握しておられるのか。 逆に現状の施設でどのような行政・民間・学生発信のプロジェクトが生まれ、どのような結果が出ているのか、具体的にご教授いただきたい。 また、当プロジェクトは建物と立地の効用を最大限に活用する事を目指しており、場所にこだわっている。</p> <p>8) 運営費の詳細な内容については、改めてお示ししたい。</p> <p>検討経緯の詳細についてお尋ねします。市長における市政への市民参加を促し市民主体のまちづくりの推進に対して出来ない理由を挙げるだけで不採択とする姿勢には納得出来ない。</p>